

相模原中 R C

# 会報

第 2202 回例会

3月5日 No.32

会長 阪西 貴子 幹事 藤本 恵介



世界に希望を生み出そう

●友好クラブ

韓国・龍仁ロータリークラブ  
国際ロータリー第 3600 地区  
台湾・台中文心ロータリークラブ  
国際ロータリー第 3461 地区

●姉妹クラブ

千曲川ロータリークラブ  
国際ロータリー第 2600 地区

●提唱インターアクトクラブ

光明学園相模原高等学校



## 「第二の人生」にチャレンジ！ 「社会市民活動」が大学卒論テーマに至る経緯

### 阿部 毅

・生い立ちと経歴：徳島県神山町で公立の小中高を経て、昼間は徳島大学医学部で、国家公務員として「研究捕手」をしながら、夜は理工学部：電気工学科の夜学部で学ぶ。

無名の田舎町も今や「ITの街」「経営塾高専（授業料無料）」として報道で取り上げられるほど話題の町に変貌。

・「東京オリンピック」2年後の1966年4月（S41）に、日本で初めて「脳波計」を世に出した医療機器メーカーに就職、セールスエンジニアとして東京都内病院&研究所のエリア担当となる。

・1983年（S58）12月、満40歳を期して独立を決意、相模原市内に医療機器販売会社を設立。医療機器メーカー勤務から販売会社を立ち上げ、主に輸入品を主力とする「白内障手術機器」の神奈川県代理店として実績を上げ、

医療界40年間を経て後継者問題の諸事情を鑑み2005年（H3）に事業を清算する。

・同年6月（63歳）：「結核性胸膜炎」で緊急入院。その後、半年間の自宅療養中に新聞・テレビなどでヒントを吸収しながら、健康回復後の「我が老後の生き方」に向けて考えを巡らす。

### 朝日新聞記事から

昨日3/4（月）朝日新聞朝刊一面に、今日の卓話内容には実にタイムリーな記事が掲載されておりました。別紙回覧の新聞写真の見出し記事のような、高齢者社会で急増している「孤独死」と言う問題です。10年ほど前に、NHKが立て続けに放映特集したドキュメンタリー番組「無縁社会（薄れる家族の絆）」と「老後破産（長寿と言う悪夢）」が思い起こされます。正にその予告が今や現実となって、日々の報道に多くの問題提起を投げかけているのです。

今回の青山学院大学で、3名の卒論ゼミで取り上げたテーマも、実はこの報道の諸問題が原点となり、「高齢者の社会的孤立を予防する、コミュニティビジネスの発達過程に関する研究」というテーマが設定されたものです。

**“第二の人生” を生きる決意まで・・・好きな事を、楽しみながら！**

\*ロータリークラブ活動の一つに、「**社会の為に何か良い事をしよう!**」というフレームがあります。この言葉が深く心の底に定着し、そんな社会活動に根強く関心を向けておりました。

\*自分の得意な事は何だろうか?・・・商売ではなく、人のお世話(おせっかい)が出来る事業を通して、長い間お世話になった社会に「何か恩返しをしたい!」そんな心境でした。

\*年齢を考え、「ローリスク、ローリターン」を根底に、社会活動に関する小事業を運営する。

\*社会性のある「市民活動」を主体に、「**まちおこし**」と「**シニアの居場所&生き甲斐づくり**」に特化した事業を起こす。▶学びの基盤として、経産省委託の「コミュニティビジネス学園」で学ぶ。

\*事業の基本手法:2002年、経済産業省が事業の新構想の一環として提唱の「コミュニティビジネス」にチャレンジする事に!

\*2006年8月、経済産業省の「CBアドバイザー」資格取得、引き続き「CBコーディネーター」資格試験を経て、相模原市産業振興財団との協力体制で市民活動に関わる。当時シャッター化した「西門商店街」の活性化、及び戦後の1947-49年生まれの大量退職者が街にあふれる事態を予測した「**団塊世代2007年問題**」から派生する「シニアの居場所」問題を察知し、受け入れの準備に取り掛かる。

\*コミュニティビジネス(以下CB)の立ち上げ  
2008年6月、相模原市で最初の「CBを活動基盤に置いた」市民活動団体「**シニアふれあいサロン in 西門**」を西門商店街の一角に設立。

\*事業の継続的運営を目指したサービス(奉仕)の有償化。

・相模原市は「ボランティア」の先進地区?市民活動の大部分が無償。

「ボランティア」とは?・・・市の社会協議会、市民サポートセンターなどが実施している多く

の活動は基本的に無償行為で賄われている。

「**有料サービス**」とは?・・・私たちの目指している「CB」は、サービス行為に対して基本的には最低の実費、または費用負担をして頂く「**対価方式**」を原則とする。

\*地域グループリーダーの継続性と、活性の弱体化が参加費無償に要因がある事に気付く。サポーターがどれだけ汗水垂らして支援活動しても、一銭の実入りが無ければ、お手伝いの継続的な意欲を失くしてしまう現象に。▶協力者には少額ながら「**対価**」を支払う。

\*自主的な「**自力運営**」が出来れば、行政に対して「**活動助成金**」を要求しなくても運営が可能となる、と言うのが大きなメリットである。行政側の予算削減につながる事に!

**社会活動分野テーマ選択、私の専門担当分野は?**

① シャッター化した「**西門商店街のまちづくり活性化**」

② 「2007年問題を基盤とした「**シニアの居場所&生き甲斐づくり**」の構築」

③ 商店街の活性化

\*「西門商店街の「まちづくり」・・・シャッター化した商店街の実態解決にチャレンジ。

① 西門商店街での4回に亘る「フリーマーケット開催」、西門広場での「ウクレレ演奏&フラダンス」の興行、西門プラザでの新宿うたごえ喫茶「**ともしび**」の出前サービスの実施、など商店街を巻き込んだイベントを5年間で10回ほど開催、結果は、イベントには集客成果はあったものの、商店街への継続顧客としての定着効果は得られなかった。

(理由) 不思議なことに、商店街が本気で活性化を望んでいなかった。過去に役員理事の起こした商店街の「**負の遺産**」が大きな禍根となりチームワークがとれず、加えてどの店主も「**後継者問題**」で難航し行き詰まり状況」にあった。結果、どれだけ外部から手を加えても、先行きの希望的観測が立たず、2012年の段階で撤退を決定した。



（「西門商店街」活性化の為に4回の「西門フリマ」を、当サロンの“ウクレレ演奏&フラダンス”・西門地域の“おやじバンド”など鳴り物入りで開催企画して実施する。）



（西門商店街の「西門プラザ」を借用して、新宿うたごえ喫茶“ともしび”の出前サービスを開催8回に常に100名位の参加者を集めて盛大に実施を続けた。）

## ② シニアの居場所と生き甲斐づくり

「2007年問題」とは？・・・厚生労働省が2005年度に発表した人口動態の一環で団塊世代【昭和22年（1947年）～24年（1947年）の3年間の出生者806万人、平成18年10月現在の人口で約677万人、総人口に占める割合は約5、3%と言う人口構造上、大規模な集団となる。

更に報道されているのは、この団塊世代が来年には後期高齢者に突入すると言われる「2025年問題」の到来です。「2025年の崖」と呼ぶ人もいる。

\*高齢化率の急上昇化・・・独居者の孤立、体調悪化、生活の貧困化、孤立死、買物難民化

\*認知症の急速な増加・・・家族生活の混乱（認知症を診断されると本人による銀行預金の引き下ろし不可、運転免許の取り消し等）、介護医療費の増加、金銭詐欺被害の拡散化

\*高齢者世帯の急増・・・全世代の49.7%の2580万世帯（高齢者数3589万人、高齢者夫婦のみ487万世帯。独居者は502万世帯）

\*年間死亡者数の急増化（約160万人）・・・出生者80人弱？ 人口動態の変動、総人口の減少化。一億を割り込む時期は2048年頃か？

「高齢域に入る自分自身を重ね」人口動態を考慮して、下記の対策事業化にスタートする。

\*「急増するシニアの“居場所・生き甲斐づくり”」2008年6月設立。・・・設立当初よりシニア活動の動きに活気が！

先の①「まちづくり活動」が今一つ活性化の成果が上げられない状況の中で、並行して活動準備を進めていた「シニアふれあいサロン in 西門」は開設当初より予想外の利用者があり、当初の年間利用者を300名と目論んでいたところ、実に3倍強の950名の実績を得た。この結果は当事者としては驚きであった。以後年間利用者は倍々ゲーム状態となり、ピーク時の2015年度には3515名を記録、コロナまでの12年間で総計32000名を突破した。

### 【急成長の理由？】

・利用者の要望を「プログラム」に加えた。

➡顧客第一主義を採用！

（事例）お喋り・うたごえサロン・自由絵筆教室・健康マージャン・ウクレレ・フラダンス・川柳・毎月定例の「チョイ呑み会」・ハーモニカ・シニア健康料理教室・近郊の日帰り、一泊旅行・アクセサリー制作教室など。

・指導講師（リーダー）は会員の中から選定し、実費会費の半額を支払う取り決めをする。

・常設のサロンで、自己都合で参加しやすい気楽さが好評を得た。

・低参加費での実費制良かった。

（2012年8月8日、NHK eテレ「団塊スタイル」取材で俳優の伊吹吾郎氏が来サロン）

（2015年12月4日TBSラジオ「大沢悠里の歌謡ショー」で毒蝮三太夫師匠が生放送で来サロン）

【追加エピソード】 日本に初めて「東京ロータリークラブ」を創設した米山梅吉初代会長は、私財を投じて「青山学院初等部」を創設し、キリスト思想に基づいた教育を奨励し、初代の校長を務めた。現在の青山学院大学の基幹の一翼を担った記録が残されている。

（概要にて掲載）

## 会長の時間



3月に入り、天気の良い日が続いていますが、風はまだ冷たく、うっかり薄着をしてしまうと寒くて大変です。

実は、私事ですが、先週の金曜日の夜10時過ぎに南橋本1丁目で火事がありました。

私は自宅のマンションにいたのですが、「ボン」という音が聞こえ、消防車のサイレンが次々に聞こえ、あわてて廊下に出てみると、なんと事務所近くが燃えています。その時は火の大きさから3軒隣りが燃えているようなイメージでした。

周辺は消防士のかたがすでにホースの準備を始めていました。事務所の方にも煙がきており、本当に大きな火事だったので、万が一の延焼があるといけないと思い、慌てて本当に必要な書類と思われるものを手提げに詰めて、ダッシュでその場を離れました。もうその時は道路規制のためのテープが張られ始め、事務所前の道路も立ち入り禁止となっており、テープをくぐって自宅に戻りました。書類をすこしでも持ち出せたことに安堵致しましたが、そうは言っても大事な書類は事務所に山のようにあるので、消火されるまで落ち着かず、朝方4時ごろやっと煙だけになったのを確認して、就寝いたしました。

煙が少し離れている私の9階のマンションの廊下まで登ってきて、廊下階段にいられないくらいに一時はなつたので、これでも火事の大きさがわかりますね。どこかで煙を少し吸ってしまい、次の日はそのせいかどうかわかりませんが頭痛がして寝込んでしまったくらいです。また消防車も11台も来ていたそうです。

一日明けて、現場は火が出た家が全焼。その

周辺の家も焼けていました。4棟を焼いた火事と報道されていましたがね。位置的に思ったより事務所から離れている場所でした。負傷者が2名、病院に搬送されたと聞いております。負傷者の方の一日も早い回復を祈っております。

さて、今回の教訓ですが、このように、火事地震が起こった時、身を守るのがもちろん一番になりますけど、「何か持ち出す」という時に何を最優先したらよいか、大変考えさせられました。耐火金庫にお客様からお預かりしている通帳類はしまっているもので、これはもうこのままにしておくしかないとか、万が一書類が燃えたとき、何が燃えたかわかっていないといけないようにしておくべきだろうとか、PCのデータをクラウドに定期的に移しておくべき等危機管理の重要性が身に染みてわかりました。

これは後から聞いたのですが、今回周辺の方は、自治会館に避難したそうです。夜遅くにもかかわらず、市役所の方、自治会長さん、議員の方などが集まって、毛布などの対応をされていたとのことでした。何かあったときは助け合いの気持ちが必要になりますね。情けは人の為ならず。そしてロータリアンとしても微力ではありますが、何かお手伝いできることがあれば率先して動きたいと思いました。

次に、今週末はいよいよ河津桜を愛でる会になります。集合場所、時間はあらためてメールで流しますのでご確認ください。丸子会員より、2010年2月23日に会長時代に行われたという、河津桜の会の会報を見せて頂き、俳句を詠み合い、格調高く行われておりました。

11日(月)はインターアクト対象のお仕事紹介があります。この日に空とぶシューズプロジェクトで集めた上履きをインターアクトの人達と一緒に段ボール詰め作業を行う予定です。行事が続きますが、どうぞよろしく願いいたします。

来週火曜日は日曜日を移動例会とするので、お休みになります。お間違えのないようお願い致します。  
(概要にて掲載)



◆ 阪西会長、藤本幹事

①阿部会員、本日は卓話よろしくお願ひ致します。  
楽しみです！

②今月誕生日の丸子会員、おめでとうございます。  
私、藤本も52歳になります。お祝ひを頂き、  
ありがとうございます。

◆ 丸子 勝基会員

①誕生日を祝って頂き、ありがとうございます。  
人生は、長いようで短い。おかげで、82歳に  
なります。現役気分だけは、中々抜けません。  
これからも元気で生きていきたいと思ひます  
ので、仲良くお付き合い願ひます。

◆ 小野 孝会員

①会員誕生日祝の丸子さん、藤本さん、おめでと  
うございます。

②卓話の阿部さん、よろしく。

◆ 中里 和男会員

①丸子さん、藤本さん、誕生日祝ひおめでとうご  
ざいます。

②阿部さん、卓話楽しみです。

◆ 田所 毅会員

①丸子さん、藤本さん、誕生日おめでとうござい  
ます。

②阿部さん、卓話宜しくお願ひします。

◆ 黛 裕治会員

①3月お誕生日の丸子さん、藤本さん、おめでと  
うございます。

②卓話の阿部さん、楽しみにしています。

③朱さん、ようこそ！！

◆ 阿部 毅会員

①例会の貴重な時間を頂戴し、本日の卓話をやら  
せて頂きます。

②米山奨学生の朱 奕琳さん、2年間よく頑張りま  
した。心から、卒業をお祝ひします。

③丸子会員、藤本会員の誕生日、お祝ひ申し上げ  
ます。

◆ 櫻内 康裕会員

①会員誕生日祝の丸子会員、藤本会員、おめでと  
うございます。

②卓話の阿部会員、宜しくお願ひします。

◆ 横溝 志華会員

①お祝ひの皆様、おめでとうございます。

②阿部会員、卓話をお願ひ致します。

◆ 佐々木 敏尚会員

①本日、会員誕生日祝の丸子さん、藤本さん、お  
めでとうございます！

②卓話の阿部さん、朱さん宜しくお願ひします！

◆ 大井 達会員

①丸子さん、藤本さん、お誕生日おめでとうござ  
います。

②朱さん、卒業おめでとうございます。新生活頑  
張って下さい。

③阿部さん、ご苦勞様でした。卓話、宜しくお願  
ひ致します。

◆ 諸隈 武会員

①丸子会員、藤本会員、誕生日祝ひおめでとうご  
ざいます。

②朱さん、残り少ない期間、ロータリーを楽しん  
でください。

③阿部会員、卓話楽しみです。

◆ 河野 崇会員

①会員誕生日お祝ひの丸子さん、藤本さん、おめ  
でとうございます。

②3/13丸福会になります。皆さんのご参加、  
お待ちしております。会員増強、入会者はまだゼ  
ロなので、先ずは、ゲストの方を皆さんのお力  
で、お願ひ致します。

本日のスマイル額 18,000円

<報告事項>

1. 第2780地区ガバナー事務所より

1) ロータリー財団奨学生 オリエンテーショ  
ン開催のご案内

日時：4月7日（日）15：00～16：30

※オリエンテーション終了後、懇親会開催。

詳細、会費等は後日ご案内いたします。

内容：奨学生の現時点の状況、オンライン申請  
手続きについて

場所：藤沢商工会議所ミナパーク503会議室  
各クラブのカウンセラーの方の出席をお願ひ致  
します。

## 《今月のお祝》



### ＜会員誕生日祝＞

- ・丸子 勝基会員 3月 8日
- ・藤本 恵介会員 3月25日

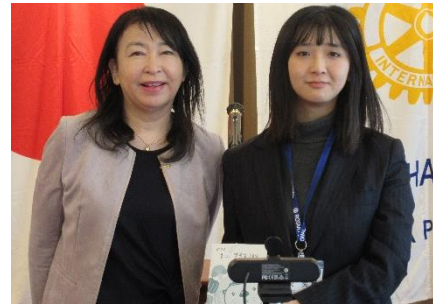
## 《定例理事役員会報告》

1. 相模原消防局より、寄贈して頂いた垂幕、支柱撤去について  
垂れ幕は、2016年豊岡会長年度に寄贈。現在は破損してしまい、数年前より外しているそうです。支柱も老朽化、車両の増加により撤去予定しているため、中クラブの承認を得たいとのこと。→承認  
※撤去予定は今年夏ごろの予定。
2. 公益社団法人神奈川被害者支援センターより卓話依頼についてのお願い  
(各クラブへ同様に送付されています。)  
→活動内容等の詳細を頂いてから検討する。
3. IM参加者確認 (出欠表にて)
4. 地区研修・協議会参加者確認 (一覧にて)

## 出席報告

会 員	出席 (対象者21名)	事前メイク者
27名	(Zoom含)22名	1名
欠席者	本日の出席率	修正出席率(2/20)
2名	92.00%	92.31%

## 《近況報告 米山奨学生 朱 奕琳さん》



今月が最後となります。お陰様で、無事に卒業できます。26日の夜間例会が最後になります。2年間ありがとうございました。今後は、学友会として活動していきますので、宜しくお願い致します。

## 今後の例会プログラム

- 3月19日 PETS報告 大井会長エレクト
- 26日 夜間例会 18:30点鐘 敦煌
- 4月 2日 ゲスト卓話 坂井 丞氏
- 9日 卓話 南 篤史会員
- ※4月13日 (土) 第5グループIM  
13:30点鐘 相模原げやき会館
- ※4月21日 (日) 地区研修協議会  
10:00 開会

## 例会記録

- 点 鐘 12:30
- 会 場 中国名菜「敦煌」
- 司 会 早川 正彦SAA
- 斉 唱 国歌 君が代
- ロータリーソング「四つのテスト」
- ソングリーダー 櫻内 康裕会員
- ゲスト 米山奨学生 朱 奕琳さん



### ●例会場 中国名菜「敦煌」

〒252-0231 相模原市中央区相模原 2-13-1

TEL 042-756-6555 FAX 042-756-6559

### ●事務局 〒252-0239 相模原市中央区中央 3-12-3

相模原商工会館 3F

TEL 042-758-5750 FAX 042-758-1605

●E-mail: [rotary@tbgt-com.ne.jp](mailto:rotary@tbgt-com.ne.jp)

### ●例会日 毎週火曜日 12:30~13:30

### ●編 集 親睦活動委員会

委員長：黛 裕治 副委員長：冨住 悦子

委員：川合 貞義、竹田 繁、田所 毅  
櫻内 康裕、阿部 毅、横溝 志華  
南 篤史、山口 友彦、古屋 香織

●<http://sagamiharanaka-rc.jp/>